

(別添資料1)

事業所名

マリアーノ六甲道

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

3 日

法人（事業所）理念		「ゆたかな心を育み、未来につなぐ」						
支援方針		・お自身が自分らしくいられる支援を目指します ・ご本人の発達段階に応じた自立を目指し、見通しをもって主体的に過ごせるよう支援します ・ご家族の気持ちに寄り添い、またご本人の意向を大切にしながら目標を立て丁寧な支援を目指します						
営業時間		平日	10 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土曜日 長期休暇	9 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・放課後や長期休暇の時間を事業所で過ごすことにより、生活リズムの乱れを防ぎ、安定した日常生活や社会生活を送ることが出来るよう、支援します ・子どもたちの体調や情緒面を考慮し、落ち着いて過ごすことが出来るよう環境設定を行います						
	運動・感覚	・公園等、屋外で身体を動かす機会を設けます。また、室内では身体を動かすゲームや遊びを取り入れます（小集団での活動やレクリエーション等） ・手先の感覚を養う為、自立課題や制作活動を行います ・視機能を高める為、ビジョントレーニングを行います						
	認知・行動	・ソーシャルスキルトレーニングを行い、社会性スキルを学ぶ機会を設けます（小集団または指導員とマンツーマンで実施） ・見通しを持って過ごせるよう、個々のスケジュールを視覚的に示したり、活動において手順書を使用します。声掛けが極力減らし、本児の自発的な行動を見守ります ・担当指導員と話す機会を設け、本児の悩み・困りごと・気になることがあればその都度解決出来るよう助言を行います						
	言語 コミュニケーション	・話を聞くトレーニングを行い、ワーキングメモリとコミュニケーションの基礎を育てます ・語彙力を伸ばす為、読み書き・文章作成等の課題を行います ・小集団の中で自身の意見を発表したり、プレゼンテーションする機会を設けます。また、子ども同士で話し合う機会を設け、相手の意見に耳を傾ける・譲歩する・複数名で意見をまとめる等の経験を積み、コミュニケーション力を伸ばします						
	人間関係 社会性	・集団の活動（調理・制作・レクリエーション等）に参加する機会を設けます ・複数名で遊べるカードゲームやボードゲームを用意し、子ども同士でやり取り出来る環境を設定します ・必要な場面で指導員が介入し、上手くやり取り出来るよう助言します。その際、適切な行動に注目し、褒める機会を増やします						
家族支援		・面談や連絡帳等を通して家族と情報交換を行い、その時の状況に合わせた細やかな支援が出来るよう支援します ・必要に応じて、関係機関と連携し情報共有を行います					移行支援	・保護者・本人のニーズに合わせて、就学先・就労先に情報提供を行います
地域支援・地域連携		・区の子ども部会等の集まりに参加し、密な地域連携を図ります					職員の質の向上	・身体拘束・虐待防止委員会を設置し、定期的に話し合う機会を設けています。また、施設内研修を年に一度実施し、外部研修にも積極的に参加します
主な行事等		・季節に合った制作や活動を随時取り入れています ・年に2回、避難訓練を行います						